

2017年9月19日

新築賃貸マンションAにおける子育て世帯意識調査結果を公開。

子育てを通じた地域の付き合いは「ひとりもない」が最も多く、全国平均より高い

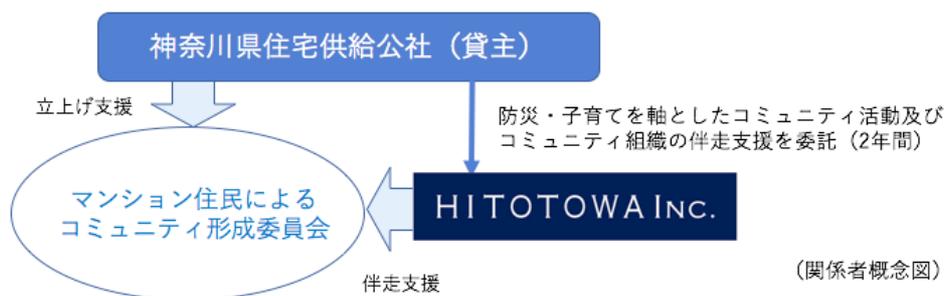
～意識調査の結果を踏まえて、2年間の子育て支援の取り組みを実施予定～

HITOTOWA INC.では、「子育てのしやすさ」や「災害時の共助」に繋がるコミュニティ形成の支援を受託している新築賃貸マンションに住む子育て世帯がどのような子育て環境にあるのかを明らかにするため、意識調査を実施しました。

子育て環境は、子育て世帯の核家族化や共働きの増加、地域とのつながりの希薄化など、時代の流れとともに変化しています。「子育てで孤立を感じる」という母親は7割、「産後うつ」は一般的なうつの5倍以上の発症率ともされ、子ども・子育て世帯を支えていくための取り組みが必要です。子育て世帯の受け皿となってきた新築マンションでは、入居者の多くがライフステージの変化とともに住み替えをしており、出産や入園・入学を機に入居する子育て世帯が多くいます。

しかし、これまで子育て世帯と「住まい」にかかわる調査は、住み替え意識や居住環境の優先順位などの不動産の市場ニーズを把握するためのものが多く、実際に住み替えを行なった子育て世帯がどのような状況にあるかは十分に明らかになっていませんでした。

そこで、HITOTOWA INC.では、貸主である神奈川県住宅供給公社の協力のもと、当該マンションに入居している子育て世帯（※入居後3ヶ月程度）の子育て環境の把握と、今後の子育て支援の取り組みの検討を行うことを目的にアンケート調査を実施しました。



その結果、子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所が「いない/ない」と回答した割合は3割（市内平均の約5倍）、子育てを通じた地域のお付き合いをしている相手は「ひとりもない」と回答した割合は最も高く、全国平均より高い割合であることが明らかになりました。この調査結果は、対象者が当該マンションに入居してから3ヶ月程度と期間が短く、地域との繋がりがまだできていないことも影響していると考えられ、今後、この結果を踏まえて重点方針を策定し、子育て支援の取り組みを一定期間実施したあとに、再度調査を行い、活動の振り返りと評価を行う予定です。詳細は報告書をご覧ください。

◆アンケート調査概要：

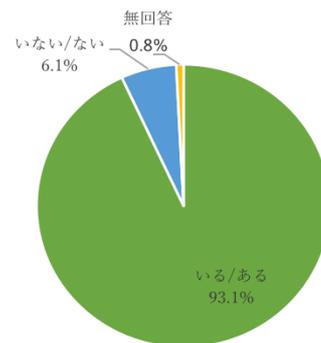
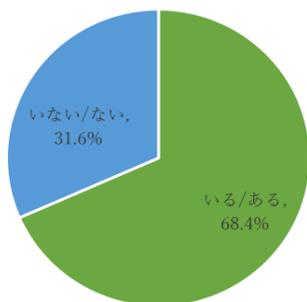
調査対象	川崎市内の新築賃貸マンション A（入居開始時期：2017 年 3 月中旬）に居住する子育て世帯の父母（妊娠期も含む）
調査方式	直接配布・集合調査
調査時点	2017 年 6 月
配布数	59 人※交流イベント参加者
回収数	59 人（回収率 100%）

◆アンケート結果概要：

Q1.子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか？または、相談できる場所がありますか？

【今回調査】

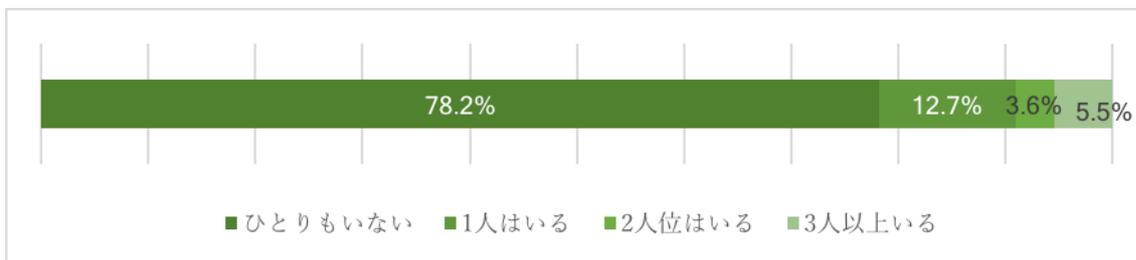
【川崎市「子ども・子育て支援に関する調査」】



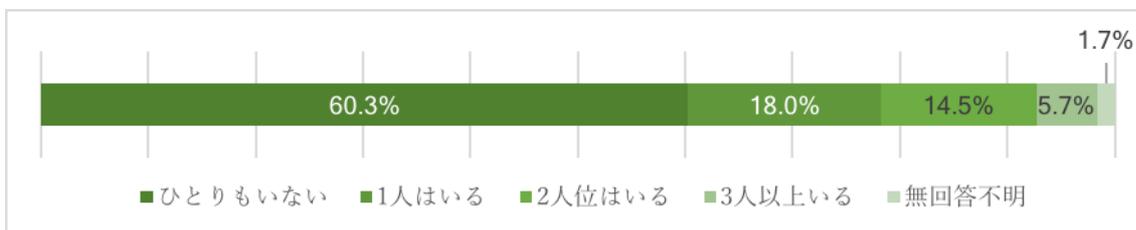
Q2.地域の中で子どもを通じたお付き合いについてあてはまるもの

・○○ちゃん（子ども）を預けられる人：

【今回調査】



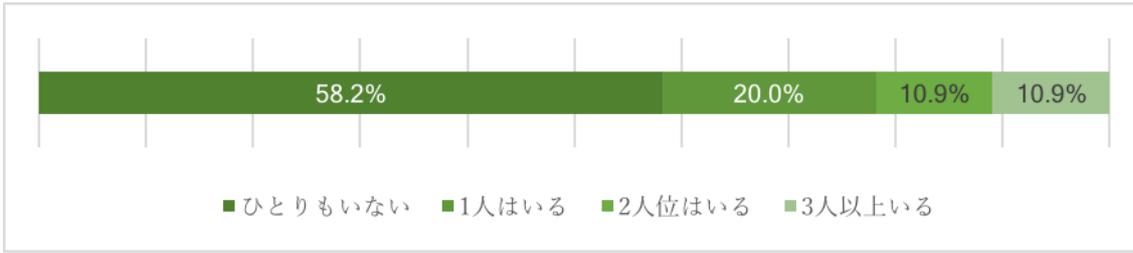
【ベネッセ教育総合研究所（2011）第 2 回妊娠出産子育て基本調査(横断調査)報告書】



News Release

・〇〇ちゃん（子ども）を気にかけて、声をかけてくれる人

【今回調査】



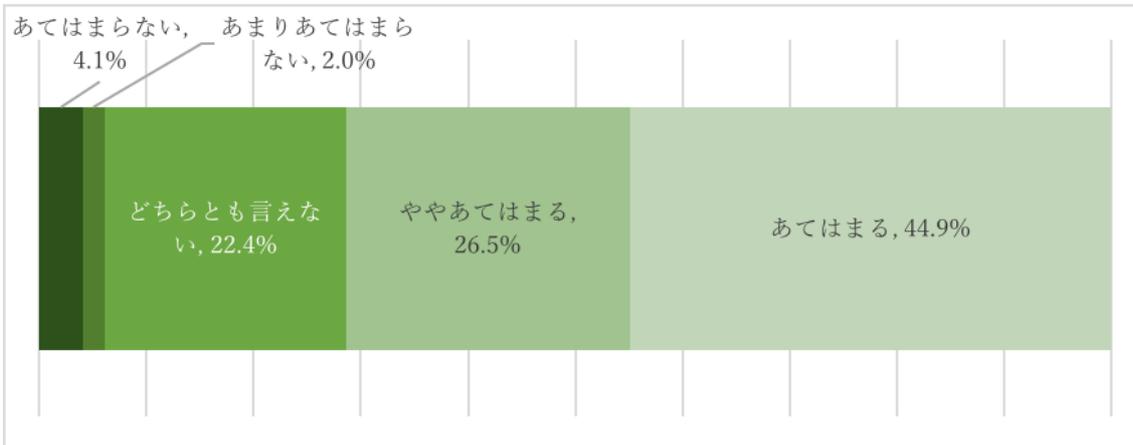
【ベネッセ教育総合研究所（2011）第2回妊娠出産子育て基本調査(横断調査)報告書】



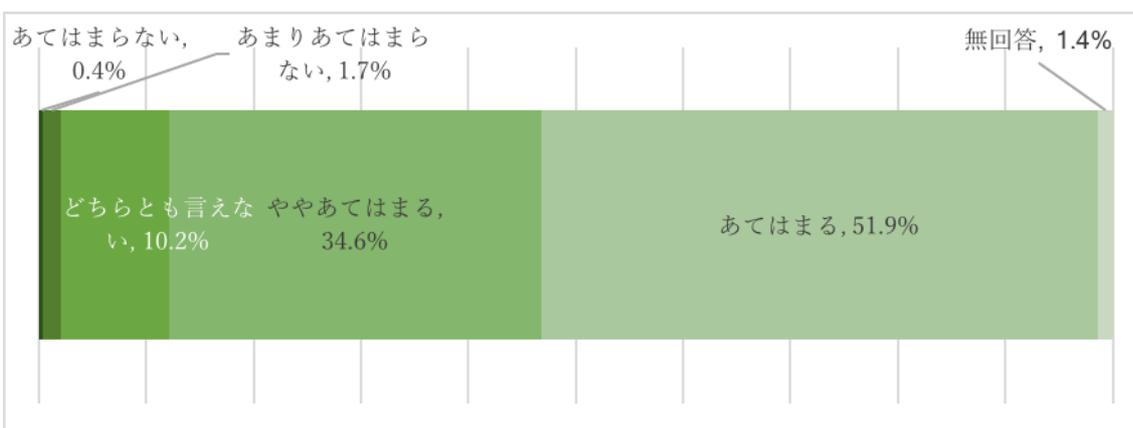
Q3. 子育てや家事などについてあてはまるもの

・子どもを育てることに充実感を味わっている

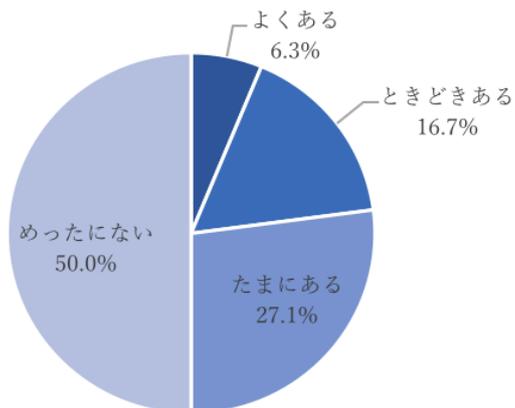
【今回調査】



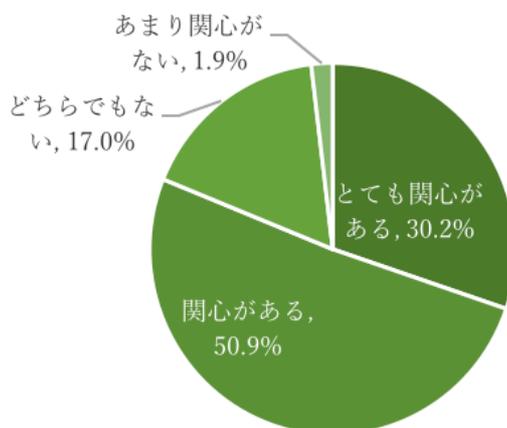
【ベネッセ教育総合研究所（2011）第2回妊娠出産子育て基本調査(横断調査)報告書】



Q4.子育てをされていて孤独を感じることもある



Q5.本物件での子育て支援の活動に関心がありますか？



本件に関するお問い合わせ窓口
HITOTOWA INC. 担当：西郷 E-mail: info@hitotowa.jp